

【6月7日＝報告者 第9グループ:登山利博・登別市職員労働組合】

山田町役場の行政支援に入り2日目となりました。

写真は、山田町役場庁舎と役場前のようすです。役場前は、大きな被害を受けています。



義援金受付事務にあたる3人が担当する本日の業務内容は、午前:「義援金申請書類等の確認」、午後:「申請内容のパソコンへの入力」です。

岩手県内の自治体からの応援職員と静岡県内の自治体からの応援職員とともに、約2,500件の申請書類の確認・入力作業を行います。

パソコンの台数が限られている状況なので、入力作業は、想像以上に時間がかかります。北海道では聞きなれない苗字が多いことに驚きました。



明日からは、これまで入力したデータを基に帳票を作成し、今週末と来週末に支給を予定している義援金に係る通知書等の封入作業を行い、発送する予定です。

業務終了後の雑談の中、役場職員から、貴重な話を聞くことができました。
山田町には、海岸から船で10分の位置に「オランダ島」と言われる「大島」と「小島」があります。



津波の前に発生する引き潮の際に、写真の「大島」(左)・「小島」(右)間の潮位が下がり、陸続きに見えたとのこと。

地元の方の話だと、数十メートルの引き潮だったそうです。

この距離にある島が陸続きに見えるなんて、津波の威力に言葉を失いました。